



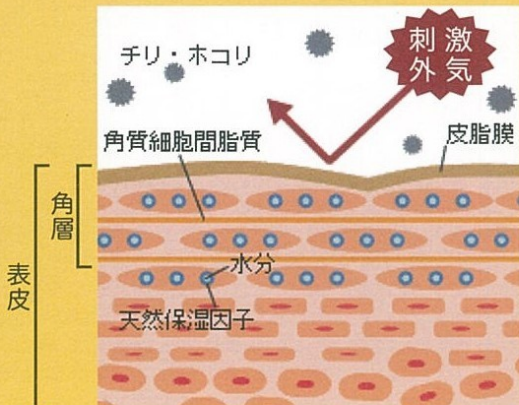
冬の皮膚トラブル

日増しに寒くなっていくこの時期、1年の間で特に皮膚トラブルが起こりやすい季節です。暖房器具などを使う事で室内の湿度が低下しやすくなり、乾燥により皮膚から水分が蒸発する事で乾燥肌になり、かゆみや湿疹に悩まされる人が多くなります。これからの時期に気をつけたい疾患の種類や原因を知って、日常生活の中でしっかりと予防していきましょう。

寒い時期の皮膚の状態

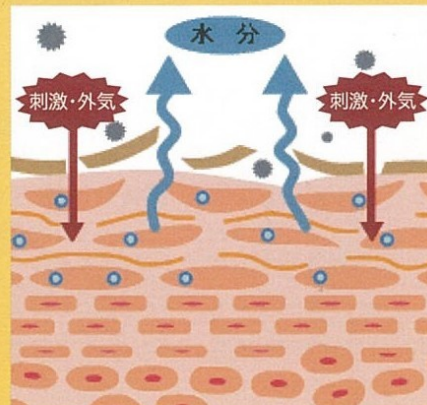
皮膚は、表面の角質層にある「皮脂」「角質細胞間脂質」「天然保湿因子」の働きによって水分を保ち、乾燥から肌を守っています。健康な皮膚は角質層が整っていますが、寒くなり空気が乾燥すると皮膚から水分が蒸発してこの3つが減少し、乾燥肌をまねきます。

乾燥肌になってしまうと、外部の刺激から体を守るバリア機能が低下し、汗や衣服との摩擦など、外からの刺激を受けやすくなります。肌は炎症を起こすようになり、肌荒れやかゆみ、湿疹などの他、肌が粉をふいて白っぽくなったり、しわが増えたりといった外見的症状が現れる場合もあります。



健康な皮膚

皮脂膜が刺激や外気をブロックし、角層で水分を逃さないように保持しています。



乾燥した皮膚

皮脂膜や角質細胞が乱れて隙間ができ、肌の内部から水分が失われてしまいます。

